

# 酒類・食品 & News 解説

週刊

令和7年3月7日(金曜日) 第3436号  
(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)  
毎週金曜日発行 編集発行人 石母田 健  
購読料 6ヵ月 15,730円(税込)  
振替番号 東京4-71739  
発行所 株式会社日刊経済通信社  
本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル9階  
☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600  
名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791  
<http://www.nikkankeizai.co.jp/>

## 2024年月別生産・出荷数量

(単位: トン、%)

月別	全国			全味工連								
	生産量			生産量			出荷量			長野(出荷量)		
	2023年	24年	前年比									
1月	31,995	31,515	98.5	28,052	26,967	96.1	26,126	25,791	98.7	13,851	14,018	101.2
2月	37,945	36,883	97.2	29,912	29,074	97.2	28,968	28,014	96.7	16,290	16,679	102.4
3月	41,422	39,569	95.5	33,927	31,435	92.7	32,649	30,553	93.6	17,990	17,971	99.9
4月	41,645	42,838	102.9	32,576	31,063	95.4	32,929	33,102	100.5	18,819	19,923	105.9
5月	33,680	33,762	100.2	26,840	27,972	104.2	27,173	26,569	97.8	14,770	15,233	103.1
6月	36,328	34,000	93.6	31,053	27,784	89.5	28,746	26,157	91.0	16,289	15,744	96.7
7月	34,246	36,763	107.3	26,930	28,659	106.4	27,717	28,815	104.0	15,503	17,219	111.1
8月	34,057	34,149	100.3	26,635	25,238	94.8	26,847	25,719	95.8	14,999	15,189	101.3
9月	38,361	35,201	91.8	30,906	28,589	92.5	29,762	27,836	93.5	17,050	16,506	96.8
10月	40,629	42,005	103.4	31,623	33,578	106.2	32,738	32,962	100.7	18,178	19,095	105.0
11月	41,454	42,459	102.4	33,118	32,394	97.8	33,708	33,341	98.9	18,345	19,283	105.1
12月	46,088	47,343	102.7	33,059	33,362	100.9	37,866	37,026	97.8	20,426	21,421	104.9
計	457,850	456,487	99.7	364,631	356,115	97.7	365,229	355,885	97.4	202,510	208,281	102.8

注) 1. 全国生産量は食品需給研究センター調 2. 全味工連は会員のみを集計

も、5月は97・年並みプラス0・5%と前移。4月は10・マイナスで推では96・1%と月の四半期累計は99・7%。前年並みの出荷量となり、下半期だけでみると99・1%、このまま下げ止まりとなつてほしいところだ。

一方で本紙調査による全

国内向け市場においては家庭用・業務用ともに需要回復の見通しが立たない一方で、海外需要は長期的な伸長を続けている。和食文化や発酵食品の海外拡大の追い風に乗った形で、10年前の2015年は1万3044トンだったものが、17年1万6017トン、18年1万7010トン、19年1万8445トンと概ね100トン刻みで右肩上がり

00トン刻みで右肩上がりが続く、20年に1万5995トンと12年以來9年ぶりに前年を下回るも、21年は欧州やアジア圏での経済活動再開に伴い回復。港灣作業員の人手不足やコンテナの不足などから輸送に滞り

月別にみると(表)、出荷量(全味工連)では1月は98・7%と前年に続いてマイナススタートとなった。2月も96・7%、3月も93・6%と第1四半期は前年同様の動きとなった。1〜3月の四半期累計では96・1%とマイナスで推移。4月は10・5%と前年並みプラス

8%で前年を下回った。6月は91・0%と1割近いマイナス。4〜6四半期では前年同期比96・6%と前年比減。上半期1〜6月で見ると半期合計は17万186トン、前年比96・4%。後半に入ると7月は104・0%と好調なスタート。8月は95・8%。9月は93・5%で2ヵ月連続前年比減となった。7〜9四半期は7月の4%プラスも、97・7%。1〜9月累計は25万2556トン、96・8%と前年同期を下回った。最需

要期となる10〜12月は3年ぶりに通常の年末を迎えた。10月は100・7%と前年並みプラス。11月は98・9%。12月は97・8%とマイナス。10〜12四半期では99・7%。前年に届きはしなかったものの前年並みの出荷量となり、下半期だけでみると99・1%、このまま下げ止まりとなつてほしいところだ。

みそ市場7年連続で出荷量減少

全国味噌工業協同組合連(全味工連)による2024年の出荷量は35万5855トン、17年以降7年連続で前年を下回り、20年に40万トンを割り込んで以降年約1万トンのペースで減少が続いている。22年4月に神州一味味噌が退会したことによる集計上の山梨の出荷量減、また25年3月にはマルサンアイ本社みそ工場の閉鎖も予定されており、生産量・出荷量ともに回復要因は認められない。

### 主な内容

24年のみそ市場	12面	森永乳業新商品	12面
24年日本酒輸出上位蔵	6面	ハムソー春夏新商品	5面
ジャルンケイワイン「ジョイ」	11面	世界フーメンサミット	3面
サリンノンアル市場拡充	13面	7はらも春夏新製品	1415面
		現地極洋「倉吉工場」竣工	7面
		◎原料商品情報	8面

健康にアイデアを

meiji

素材に、こだわり。

明治 コーンソフト

株式会社 明治